

テールアルメ壁への交通車両の衝突、壁面の補修について

・補強土(テールアルメ)壁の壁面材は、交通車両の衝突等の検討は行っていない。壁前面が道路の場合には、補強土(テールアルメ)壁とは分離した防護壁等により衝突荷重を緩和させることが望ましい。

・交通車両の衝突による壁面材の損傷について

交通車両が補強土壁面へ衝突した場合、壁面材にクラック、鉄筋等の露出、コンクリート片の脱落等の損傷が発生することが考えられる。

・壁面の補修について

壁面の損傷について、軽微なものについては補修モルタル等で修復することが可能であるが、壁面材全体に損傷が及ぶ場合は、壁面材の取替え等により対応することとなる。以下に述べる壁面材の取替え方法は、試験施工を実施した例である。

(壁面の取替え方法)

- 1) 壁面材の除去時に土砂の崩落を防止するため、除去する壁面材の背面をグラウトにより補強する。
- 2) 壁面材を除去する。
- 3) 現場打ちコンクリートで復旧する。

補強土(テールアルメ)壁は、補強材(ストリップ)と裏込め盛土との摩擦力により盛土の安定を保っている。テールアルメは盛土体内に補強材が敷設されている補強工なので、壁面材に損傷が発生しても盛土体全体の安定を損なうものとはならない。しかしながら、壁面材に何らかの損傷が発生した場合、コンクリート片の崩落等を防ぐため補修を行うのが望ましい。